学校番号	3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）古典演習	単位数	前期１ 後期１	年次	３年次
使用教科書	**※学校設定科目のため教科書はありません。**						
副教材等	古典探究（数研出版）、古典速読トレーニング標準（数研出版）、九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法（数研出版）、重要な句形と語彙を学ぶ　精選漢文（尚文出版）、トータルサポート　新国語便覧（大修館書店）、完全頻度順入試対策ベストセレクション古文単語３２５（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典は偉大な先人達の、歴史の波に揉まれながらも残った素晴らしい言葉であり、現代の我々が読んで未来への糧とするものである。いろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知り、人間について深く考えてほしい。
予習…音読して本文を写し、辞書・文法書・漢文学習書などを使って訳してみる。完全な訳でなくていいので、「どこが分からないのか」「何がわかれば訳せるのか」を把握しておく。
授業…集中して授業に参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはノートに書く。
復習…その日のうちに、ノートを見ながら内容を確認し本文を音読する。しばらく経ってからまたノートを見返して、重要事項の確認や音読をする。
音読や暗唱をすることは、古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道となる。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるために大切である。初めは面倒に感じても、音読や辞書を引くことを習慣にしてしまおう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う　。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

期間	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	総合的な力をつける演習 ［教材］ 問題集等	ａ：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ｂ［　読　］：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現にも注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 ｃ：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査	グループワーク等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察
前期期末考査まで	総合的な力をつける演習 ［教材］ 問題集等	ａ：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ｂ［　読　］：必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ｃ：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査	グループワーク等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察
後期中間考査まで	総合的な力をつける演習 ［教材］ 問題集等	ａ：古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ［　読　］：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 ｃ：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査	グループワーク等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察

後期期末考査まで	総合的な力をつける演習 ［教材］ 問題集等	ａ：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ｂ［　読　］：古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査	グループワーク等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物 行動の観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間